

授業科目名	教育社会学I
科目番号	CB25311
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋AB 木1,2
担当教員	徳永 智子
授業概要	教育社会学は、教育に関わる事象を社会現象としてみて、社会学の視点と方法で研究する学問である。教育社会学や関連領域の基本概念および理論を紹介しつつ、家族、学校、階層と教育、ノンフォーマル教育、教育問題、マイノリティと教育など、教育社会学が扱う幅広いテーマへの理解を深めていく。前半は、教育社会学の基礎を学び、後半はグローバリゼーションと教育のテーマを主に扱う。
備考	社会教育主事 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識 教育学における総合的思考力
授業の到達目標（学修成果）	教育社会学や関連領域の基本概念および理論を学び、様々な教育事象を社会的な観点から分析する力を身に着ける。実体験をもとに語られやすい教育について、実態をきちんと把握し、当たり前のもので見方を問い直すことで、教育と社会とのかかわりについて検討していく。
授業計画	<p>教育社会学や関連領域の基本概念および理論を紹介しつつ、家族、学校、階層と教育、ノンフォーマル教育、教育問題、マイノリティと教育など、教育社会学が扱う幅広いテーマへの理解を深めていく。前半は、教育社会学の基礎を学び、後半はグローバリゼーションと教育のテーマを主に扱う。事前に指定された文献を読み、授業に参加することを義務とする。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 教育社会学へのアプローチ 第3回 家族と社会化 第4回 学校教育と教師 第5回 階層と教育、教育格差 第6回 若者文化とメディア 第7回 教育問題 第8回 マイノリティと教育 第9回 ジェンダー・セクシュアリティと教育 第10回 前半部のまとめ 第11回 グローバリゼーションと教育 第12回 グローバル化と言語教育 第13回 留学生の国際移動 第14回 SDGsと教育 第15回 移民と教育:多文化化する日本 第16回 移民と教育:越境する子ども・若者 第17回 移民と教育:家族 第18回 移民と教育:学校 第19回 移民と教育:ノンフォーマル教育 第20回 後半部のまとめ</p>
履修条件	

成績評価方法	授業への貢献・積極性、発表、課題、レポートなどを総合的に判断し、評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	<p>教科書は次の2冊を予定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 飯田浩之・岡本智周編(2018)『教育社会学』、ミネルヴァ書房。 2. 額賀美紗子・芝野淳一・三浦綾希子(2019)『移民から教育を考える』ナカニシヤ出版。 <p>以下は、参考文献です：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (2010)『教育の社会学 新版：常識の問い方、見直し方』有斐閣 2. (2018)『教育社会学事典』丸善出版 3. 『教育社会学研究』東洋館出版社 <p>その他、参考文献は授業中に指示する。</p>
オフィスアワー等(連絡先含む)	水曜11:30-13(事前の appointments をとること) tomokot human.tsukuba.ac.jp(を at に)
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	本授業は、学生による発表やグループディスカッションも取り入れるので、学生の積極的な参加が求められる。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	社会化, 学校, カリキュラム, 教員, 教育格差, 学校文化, 生徒文化, 家族, ノンフォーマル教育, グローバリゼーション, 移民